

「生物多様性国家戦略2023-2030の実施状況の中間評価(案)」の パブリックコメント募集に対する意見

2025年12月2日
経団連自然保護協議会

総合評価

- ・本中間評価(案)は、国家戦略の実施状況を俯瞰する上で有意義であり、日本経済界としても示唆を得るものである。
- ・特に、経団連自然保護協議会が実施した「企業の生物多様性への取組に関するアンケート」の結果にも示されている通り、企業による取組みが着実に進展している状況が適切に反映されている点を高く評価する。
- ・他方で、状態目標・行動目標の指標に対するデータが不足している箇所や、指標・目標の設定が行われていない施策が複数見られる点については、国が主導して早期に対応方法を確立し、今後の進捗把握に反映されることを期待する。
- ・モニタリングについては、継続性の確保に留意しつつ、現在の状態目標、行動目標、指標も状況に応じて柔軟に対応していくことも検討の余地がある。COP16-2にてGBFモニタリング指標が決定したことを踏まえ、同指標との整合性を意識した評価が望ましい。
- ・国家戦略の着実な実施に向け、政府・自治体・地域社会・研究機関・企業等の多様な主体が一体的に取り組む仕組みの強化が必要と認識している。省庁連携のうえ、政府による一層のリーダーシップを期待する。

(具体的な意見内容等は添付資料1参照)

「第7回国別報告書(案)」の パブリックコメント募集に対する意見

2025年12月3日
経団連自然保護協議会

総合評価

- ・ 環境省が生物多様性条約事務局に提出を予定している「第7回国別報告書(案)」は、GBFおよび生物多様性国家戦略の進捗を包括的に整理し、国内の多様な主体による取組状況を的確に反映している。
- ・ 特に、経団連自然保護協議会が実施した「企業の生物多様性への取組に関するアンケート」の結果にも示されている通り、日本企業による取組みが着実に広がり、進展している状況が適切に取り上げられている点を評価する。
- ・ 一方、GBFヘッドライン指標のなかで「データなし」の項目が多いことは、わが国におけるモニタリング体制およびデータ整備が途上段階にあることに起因していると認識している。
- ・ サプライチェーンを含む評価・モニタリングの実践にあたっての施策強化については、経済界を含めた日本社会全体でのGBF達成への貢献についての可視化を強化し、国際的なプレゼンスを高めていけるよう、省庁間連携の上、対応の改善を求める。
- ・ GBFの2030年目標の達成に向けて、政府・自治体・地域社会・研究機関・企業等の多様な主体が一体的に取組む仕組みの強化が必要と認識している。自治体への働きかけを含め、政府による一層のリーダーシップを期待する。

(具体的な意見内容等は添付資料2参照)

国家戦略中間評価(案)、国別報告書(案)に対する共通の意見

・ 国家戦略中間評価（案）、国別報告書（案）に共通した意見として、以下の点を主要課題等として提出しました。

- ・ 生物多様性・自然資本保全と企業の競争力強化を両立させるイノベーション創出に向けた支援策拡充
- ・ 自然共生サイト、TSUNAGといった認定制度の認定を受けた事業者が、保全活動を継続的かつ適切に行うためのインセンティブの在り方の検討
- ・ サプライチェーンも含め、民間事業者が簡便に利活用可能な自然関連オープンデータ基盤の構築、評価手法の確立と標準化

(具体的な意見内容等は添付資料1, 2参照)